

第5回 防災委員会

クロスロード

[1] 目 的

「クロスロード」とは「岐路」という意味で、災害対応時のジレンマを伴う重大な決断の場面を想定し、災害対応を自らの問題として考え、かつ、自分とは異なる意見・価値観の存在に気づかせる。

[2] 方 法

- (1) 10枚の問題カードとイエス・ノーカードを各1枚使用します。
- (2) 1人ずつ順番に問題カードを読み上げます。
- (3) 自分の意見を考察ノートに記入する。
- (4) 自分ならその状況でどうするかを考え、イエスかノーのカードを選ぶ。
- (5) 選んだカードを裏向きにして自分の前に置き、全員がカードを置いたら一斉にカードを表に向けます。
- (6) 多数派の意見だったプレイヤーが、景品を獲得する。
ただし全員同じ意見の場合は、景品はもらえない。
- (7) 自分の意見とみんなの意見がかなり違っていたり、意外だった所を記録する。
- (8) 迷った問題や条件が変わっていたら決断が違っていたという条件を記録する。
- (9) グループで、話し合いをする
「イエス」の問題点、「ノー」の問題点
判断のポイント
事前に考えて(して)おくこと
- (10) 各グループごとの発表
他に意見があれば発表する。

ゲームの目的は「勝ち負け」を決めることよりも、むしろ、ゲームを通して、災害対応について学ぶことである。

※巖浄閣版クロスロードの作成(次年度課題)

